

GP-1000H

| | | | |
|-------|---------|------|--------|
| 直動式 | パイロット式 | ピストン | ダイヤフラム |
| ベローズ | 内部検出 | 外部検出 | ステンレス |
| ハンドル付 | ストレーナ内蔵 | 微圧 | 遠隔 |
| 弁リーク0 | JWWA | ナイロン | |



■ 特 長

1. 一次側圧力の変動や流量の変化に対して極めて鋭敏に応答し、二次側圧力を一定に保持することができます。
2. 圧力調整を容易に行うことができ、かつ広い設定圧力範囲を有しています。
3. SHASE-S106減圧弁（空気調和・衛生工学会）の規格に準拠しております。

■ 仕 様

低圧型

高圧型

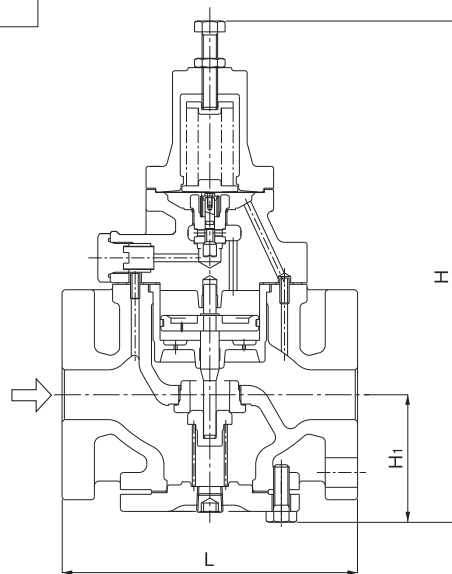
| 型 式 | | GP-1000H |
|-----------|------------|--|
| 適 用 流 体 | | 蒸気 |
| 一 次 側 圧 力 | | 0.1~1.6MPa |
| 二 次 側 圧 力 | | (A)0.05~0.9MPa (B)0.9~1.4MPa 一次側圧力(ゲージ圧力)の90%以下 |
| 最 小 差 圧 | | 0.05MPa |
| 最 大 減 圧 比 | | 20:1 |
| 最 高 温 度 | | 220℃ |
| 弁 座 漏 れ 量 | | 定格流量の0.01%以下 |
| 材 質 | 本 体 | 球状黒鉛鑄鉄(FCD450) |
| | 弁 体・弁 座 | ステンレス鋼 |
| | 先立弁・先立弁座 | ステンレス鋼 |
| | ピストン・シリンダー | ステンレス鋼 |
| | ダイヤフラム | ステンレス鋼 |
| 接 続 | | JIS 16K FFフランジ |

●低圧用Aばねは黒色、高圧用Bばねは緑色

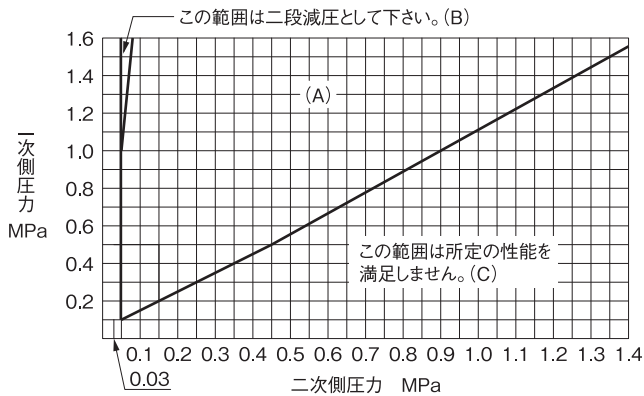
※GP-28型減圧弁と同じ面間寸法にするための面間調整用スペーサキット（スペーサ・ボルト・ガスケット）をご用意しています。

■ 寸法及び質量

| 呼び径 | L | H | H ₁ | 質量(kg) |
|------|-----|-----|----------------|--------|
| 15A | 150 | 285 | 64 | 8.0 |
| 20A | 155 | 285 | 64 | 8.5 |
| 25A | 160 | 300 | 67 | 10.0 |
| 32A | 190 | 323 | 82 | 14.0 |
| 40A | 190 | 323 | 82 | 14.5 |
| 50A | 220 | 347 | 93 | 20.0 |
| 65A | 245 | 357 | 100 | 30.0 |
| 80A | 290 | 404 | 122 | 35.0 |
| 100A | 330 | 450 | 144 | 52.5 |

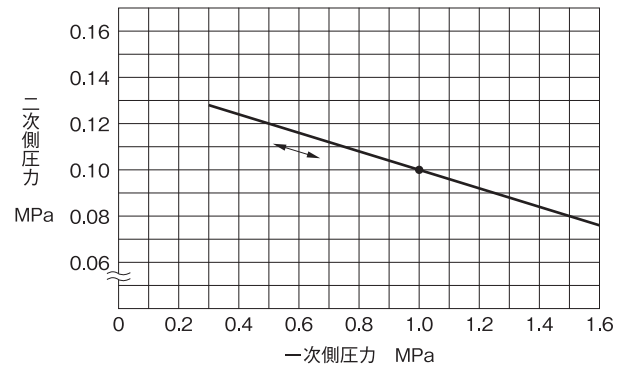


GP-1000H型減圧弁仕様選択図



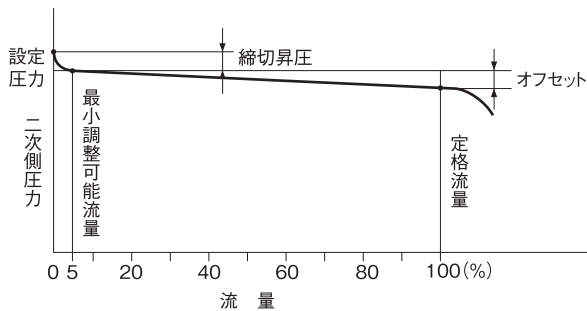
一次側圧力と二次側圧力の交点を求め、その交点が図中(A)の範囲内なら一台の減圧弁で(B)の範囲内ならば二段減圧にて制御ができ、(C)の範囲では所定の性能を満足しません。

圧力特性線図



一次側圧力1.0MPaの時、二次側圧力を0.1MPaに設定して、一次側圧力を0.3~1.6MPaに変化させた時の二次側圧力の変動値を示します。

流量特性線図



- 縮切昇圧：0.02MPa以内
- オフセット：0.03MPa以内
(設定圧力が0.05MPa~0.1MPa以下の場合)
0.05MPa以内
(設定圧力が0.1MPaを超え1.4MPa以下の場合)

補正Cv値表

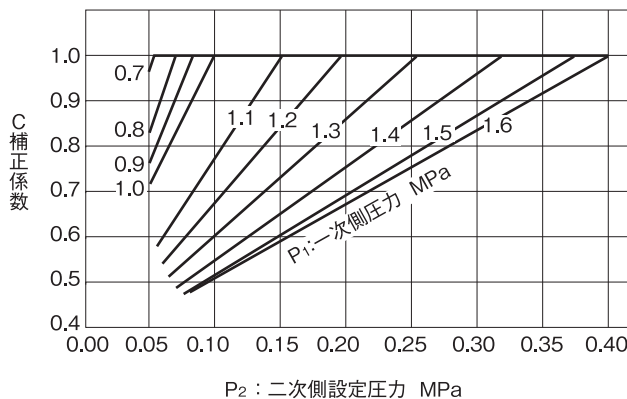
● 定格Cv値表(補正係数C=1の場合のCv値)

| 呼び径 | 15A | 20A | 25A | 32A | 40A | 50A | 65A | 80A | 100A |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| Cv値 | 1 | 2.3 | 4 | 6.5 | 9 | 16 | 25 | 36 | 64 |

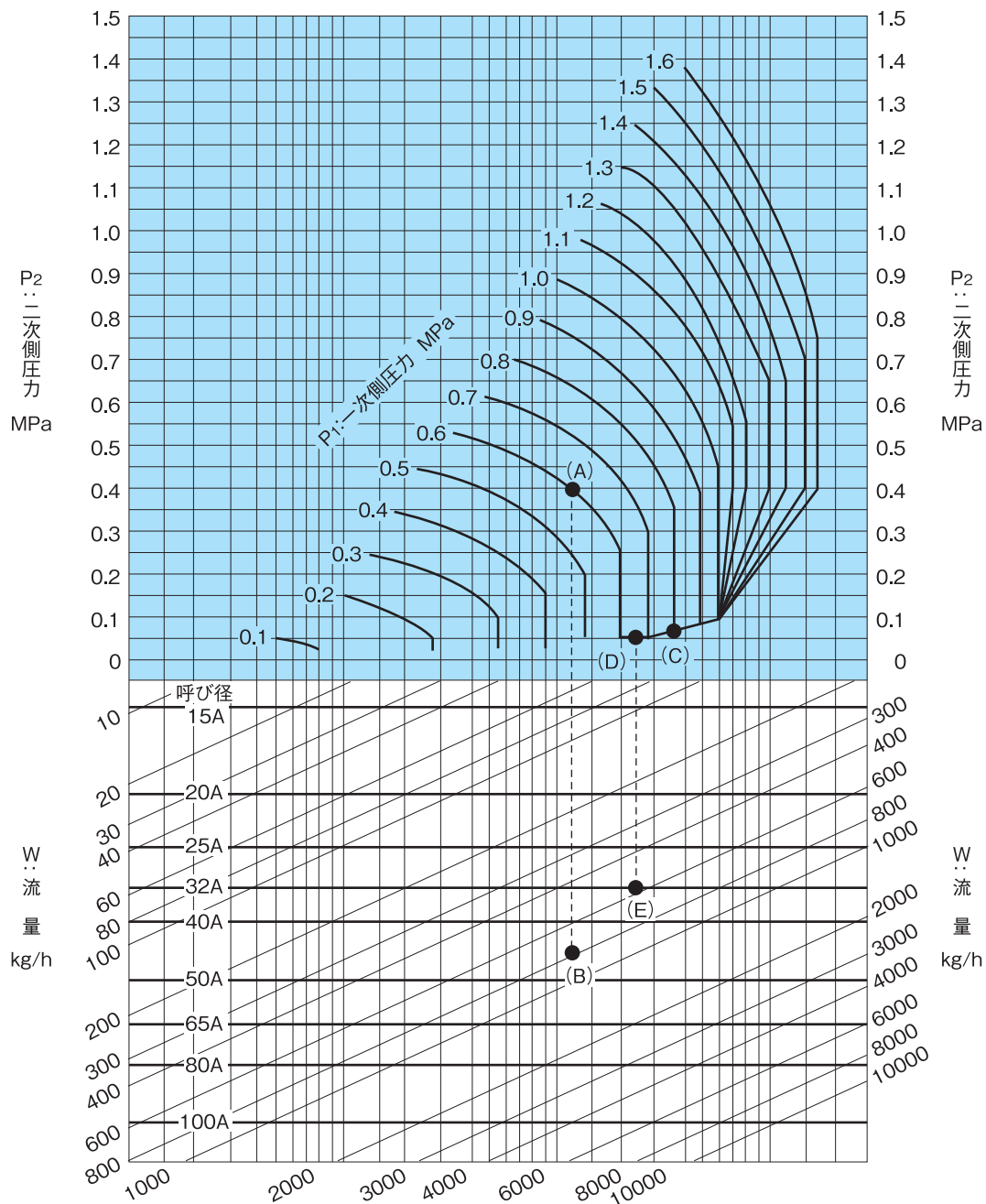
注) 但し、二次側設定圧力が下記の圧力範囲である場合は、図1の線図により求めた補正係数Cを定格Cv値に乗じた補正Cv値を求めてください。

- 一次側圧力が0.7MPa~1.0MPaでかつ減圧比が10:1を超える場合
- 一次側圧力が1.0MPaを超えかつ二次側圧力が0.4MPa以下の場合

● 図1 補正Cv値



■ GP-1000H型減圧弁 呼び径選定図表(蒸気用)



〔例1〕

一次側圧力(P1)0.6MPa、二次側圧力(P2)0.4MPa、蒸気流量800kg/hの減圧弁に対する呼び径の選定方法は、一次側圧力0.6MPaと、二次側圧力0.4MPaの交点(A)を求め(A)点より垂直に下がり、流量800kg/hとの交点(B)を求めます。交点(B)は呼び径40Aと50Aとの間にあり、大きい方を選び50Aが求める呼び径です。

〔例2〕

一次側圧力(P1)0.8MPa、二次側圧力(P2)0.05MPa、蒸気流量600kg/hの減圧弁に対する呼び径の選定方法は、一次側圧力0.8MPaと斜線との交点(C)を求め、斜線を左に下がり二次側圧力0.05MPaとの交点(D)を求めます。(D)点より垂直に下がり、流量600kg/hとの交点(E)を求めます。交点(E)は呼び径32Aと40Aの間にあり、大きい方を選び40Aが求める呼び径です。

※二次側配管抵抗等を考慮し、使用する流量は10~20%の安全率(余裕)をお取りください。